

アジア国際社会福祉研究所 kara(社会福祉関係)

No.4-2 2016.7.26

編集・発行責任者 秋元 樹

タイ王国から来日中の9名が本学を訪問予定！

「日本の認知症高齢者支援の現状を知りたい」—プチョン・セナヌッチ教授

来る7月29日（金曜日）、タイ王国の私立大学Huachiew Chalermprkiet 大学准教授プチョン・セナヌッチ先生 (Assistant Professor Puchong Senanuch, PhD) が8名の修士課程院生をと共に本学を訪問します。社会福祉政策がご専門のセナヌッチ先生は、まもなく訪れるタイの高齢社会を見据え、認知症高齢者及びその家族への支援、介護保険制度の仕組み、そして看護・介護・福祉の専門職養成について日本の現状を学びたいと希望しています。

当日は、午前11時より淑徳共生苑に見学、午後1時30分からアジア国際社会福祉研究所にて本学教員から制度等ご説明の後、意見交換を行う予定です。直前のお知らせになり誠に恐縮ですが、お時間の許す先生方、院生・学生の皆さま、是非この機会にアジア国際社会福祉研究所にお運びください。

- ◆ アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。
- ◆ 社会福祉関連のニュースにつきまして社会福祉学科の先生方にのみemailにてご参考までにお送りしています。本研究所はAPASWEの会長オフィスの機能を担っています。これからも世界のソーシャルワークの流れを随時情報提供して参ります。